



セプター訓練まとめ

2013年 3月26日

内閣官房 情報セキュリティセンター (NISC)

訓練の概要

実施細目に基づく情報共有体制の維持・向上のため、定期的に情報疎通機能の確認等の機会を提供するもの。平成24年度は第7回目。

①目的：

(1)セプター、NISC、重要インフラ所管省庁による、情報共有体制の維持、向上
(連絡網の保守、手順の習熟)

(2)各主体、各経路における既存の手順等の改善、解決すべき課題の抽出

※実際の情報提供においては実施してしない事項の確認等（例えば到達確認、個社の意見の吸上げなど）、情報共有体制の点検の機会としての活用。

②参加者： 11セプター及び参加事業者

(訓練に参加する事業者等については、各セプターにて選定)
重要インフラ所管省庁の担当者およびリエゾン、NISCの担当者

③実施日時：2012年7月から12月

④実施方法：実施細目に基づき、NISCから電子メールにてリエゾン経由で各セプターに発出し、各セプターから参加事業者に対して情報の連絡を実施
希望するセプターについては実施方法のカスタマイズを実施。
実施後に参加したセプターに調査票（アンケート）を依頼。

⑤使用した情報：NISCが作成した模擬情報を使用（情報共有レベル：Green）。
希望するセプターについては模擬情報のカスタマイズを実施。

⑥前回からの改善点：

- ・ 訓練手順、訓練日時、模擬情報の内容について、セプターの要望に応じて変更できるよう、具体的な変更案を追加するとともに、過去の変更例を提示。
- ・ 昨年度の実施手順に関する要望を実施案内に記載。その他、訓練内容が解りやすくなるよう実施案内を改善。

◆主要な結果・改善点

- ・ 訓練により情報共有体制の維持、向上を図ることができた。また、訓練内容のカスタマイズにも積極的に取り組むセプターが増えつつある。

- 昨年度の課題を踏まえた、連絡方法・ルートの改善、連絡先担当者の更新、電話による着信確認など、各セプターにて情報伝達能力の維持・向上が確認できた。
- 各セプターの多くの事業者等(約1570団体)に参加いただいた。
- 到達までの時間を測定いただいたセプターでは、大半の事業者等で当日中に受信していることが確認できた。
- 訓練手順、模擬情報の内容については選択案の追加と過去事例の紹介を行い、4セプターが実施内容のカスタマイズを行った。

- ・ 訓練の機会を活用し、セプターや個社において独自の取り組みが行われた。

- 受領した情報に、各部署で対応すべき内容等の情報を付加して展開した。
- セプター訓練に合わせて、社内の情報共有に関する訓練を実施した。
- 情報システムを担当しているグループ会社も含めた訓練を実施した。
- 前回に引き続き、到達時間を正確に把握するため、電子メールで情報を閲覧した時刻を報告してもらった。
- 訓練初参加のメンバーで対応を実施した。
- 訓練の事前周知を複数回行った。



- ・ 情報共有体制の維持・向上のために、引き続き定期的に訓練の機会を提供することは重要。
- ・ 参加者の意見を踏まえ、今後も訓練方法の多様化や訓練の実施形態を見直しを検討。
- ・ 各セプターによる独自の取組みが増加。今後も訓練の機会を有効に活用することを期待。

◆今回行われたカスタマイズ事例

- 提供する模擬情報に具体的な内容を記載した。セプターの希望により、仮想の内容を記載したセプターと実際の過去の情報提供から選んだ内容を記載したセプターがあった。
- 時間を抜き打ちで実施した。
- 双方向でのやり取りを実施した。一往復（NISCからの第1報の後、セプター（事業者）から所管省庁を通じて情報連絡）を実施したセプターと、一往復半（NISCからの第2報の提供まで）を実施したセプターがあった。